

交流

発行日:平成22年4月25日 第7号
福島日中文化交流会 事務連絡先
〒960-0613 福島県伊達市保原町字内町21-5
Tel/Fax 024-575-2071 携帯:090-2360-3275
Email:mayumi_mihojp@yahoo.co.jp
URL:<http://www.rizhongwenhua.com>

雪上交流会に 行って来ました!

平成22年1月16日(土)7人で塩沢スキー場に行ってきました。会員で塩沢スキー場の渡辺永治校長先生のご指導の下、中国人の会員さん達は、初めてスキー板を穿き大変喜んで滑っていました。会員同士いい交流ができたと思います。(岩間真弓)



这次是我第一次滑雪，关于滑雪的知识一点也不懂，只知道要用滑雪板，没想到还要穿特别的鞋子。岩间老师和斋藤先生给我们带来了很多副滑雪板，可惜的是鞋子都很小，大家都穿不上，只有我能穿上当中一副男士的鞋。穿鞋的时候费了好大的劲，人生第一次感受到穿鞋居然也是一件如此困难的事情。光穿鞋和配滑雪板大约花了两个小时，岩间老师斋藤先生和笠松先生不厌其烦地帮我们去和工作人员交涉，调滑雪板，挑雪鞋，真的很感谢大家，不过那些工作人员应该会有些生气吧。终于换上鞋来到雪场，笠松先生教了我们怎么样迎着坡站稳，试了好几次，也摔了好几次，很痛，不过也很开心。



终于站稳了，大家合了个影就开始了独自练习。找了个比较缓的坡开始练，一开始开始习惯了不那么摔跤了，大约可以滑30多米了。快乐的时间总是很短暂，觉得还没过瘾就到了集合的时间了。这一天过的非常愉快，也非常感谢岩间老师斋藤先生和笠松先生为我们做的一切，真心感谢大大家。(劉迪)

今回、私にとって初めてのスキーでした。スキーに関しては、ただ、スキー板を使うということ以外全く知識が無かったので、専用の靴まで履かなければならぬとは思ってもありませんでした。



岩間先生や斎藤さんが、私たちにスキー板を何組も用意してくださったのですが、残念なことにみなサイズが小さすぎて入らず、私だけはなんとかその中の男子用を履くことができました。このときすごく苦労したことで、靴を履くというのも意外に大変なことなんだ、と生まれて初めて感じました。

靴や板を合わせるだけでおよそ二時間もかかってしまったのですが、その際、岩間先生はじめ斎藤さんや笠松さんには、係員さんにいろいろ掛け合っていたり、板の調整、靴選びまで手伝って

いただき、本当にありがとうございました。ところで、あの係員さんたち、ちょっと怒っていたのではないのでしょうか・・・。

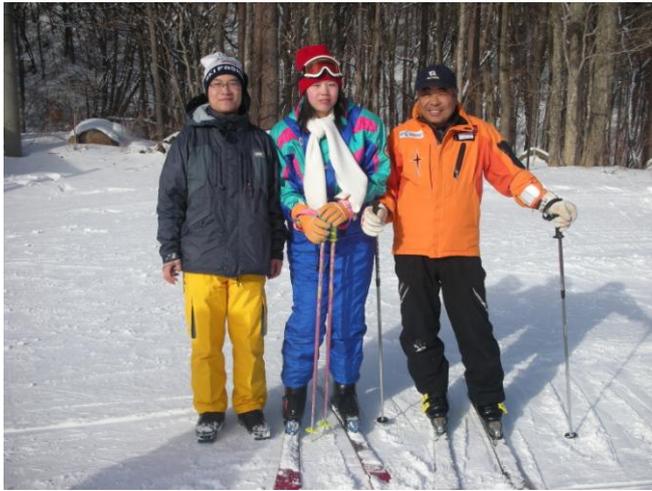
やっと靴を履いてゲレンデに出て、笠松さんに斜面での立ち方を教わりました。何度も練習しては転びを繰り返し、痛かったのですが、とても楽しかったです。ようやく立てるようになって、皆と一緒に写真を撮り、その後それぞれの練習を始めました。比較的なだらかな斜面を探して練習したのですが、始めはすごく怖くて、何度も転んでしまいました。でも、だんだん慣れてくると、あまり転ばなくなり、30メートルほど滑れるようになりました。

楽しい時間というのはあっという間に過ぎるので、まだ思う存分滑らないうちに集合時間となっていました。この日は、本当に楽しい一日でした。そして、岩間先生、斉藤さん、笠松さんには、いろいろお世話になり、心から感謝しています。皆さん、ありがとうございました。

(日本語訳 坂本砂知)



福島日中文化交流会の活動に感謝します。土曜日に皆さんと一緒にスキーに行ったことは、一生忘れられない体験であり、思い出となりました。南方に生まれ育った私は、雪を見る機会がなく、ましてやスキーをしたことがありませんでした。はじめてこんなにたくさんの雪と、こんなに大きなスキー場を見て感動し、興奮しました。スキーをしている時に何度か転んで笑われましたが、それでもとてもうれしかったです。渡辺コーチ、ご指導ありがとうございました。岩間先生、このような機会をくださりありがとうございました。これからも日中友好協会の多くの活動に参加して、知識を学び、交流を促進したいと思います。(日本語訳 安齋紀子)



感谢福島日中交流会组织的活动，可以让我星期六和大家一起去滑雪，这是我一生难忘的体验和回忆。生长在南方的我，没有机会看到雪，更别提滑雪了。第一次看到这么大的雪，这么大的滑雪场，心情很激动，很兴奋。虽然在滑雪的过程里摔了几个跟头，闹了些笑话，但是心情还是很高兴，谢谢指导我的渡边教练，谢谢岩間老师给我这个机会。希望以后还可以更多的参加日中交流会组织的活动，学习知识，促进交流。(黄培蓉)





——満話乱書——

ストレス

私は元来ストレスを感じ易いタチなのかも知れない。それは人一倍胃の丈夫な私が、ストレスが要因とされる十二指腸潰瘍に、三十代初めに冒されているし、同じころ、自律神経の乱れによる期外収縮(不整脈の一種)をも患ったからである。この期外収縮は比較的早く治ったが、自律神経不調から来る不安、緊張(気持ちとは別で、掌に発汗する)には、今でも時折悩まされる。

十二指腸潰瘍の時は<痛む>などの自覚症状はなく、物を食べた時に食道に違和感を覚えたので「まさか癌ではないだろうな」と心配しながら、妹の所へ行ったついでに内科医の旦那に診て貰った。歳上の義弟は、画面に映し出される内臓を見ながら「食道は何でもないけど——」と言いながら、臍の上のあたりを指で押す。「痛い!」と声をあげると、「ここは健康体ならば、押しても痛くないところ。十二指腸潰瘍だね。薬をあげるから飲んで下さい。油ものは一切いけません」「ラーメンも駄目ですか?」と聞くと、「ダメ、ダメ!」という。ガッカリしているとその夜、中華料理店に招待してくれたので、それならラーメンはいいだろうと、内心ほっとしたのだった。そして「高価薬」の判が押された薬を何回か送って貰い潰瘍は完治した。

その後勤め先の健康診断では、医者から決って「十二指腸潰瘍、やったね」と言われたから跡が残っているのだろう。

×

今回コラムで《ストレス》を取上げたのは、昨年1月に幹事会の宴席で、高齢者に有りがちと言われる低血圧を招いての失神を起し、皆さんに大変迷惑

を掛けてしまったこと。また今年に入り、前述した自律神経の不調から来る症状から、24時間心電図の検査をすることになり、その結果、異常が指摘されたからで、いずれもストレスの影響が大きい。

この24時間心電図検査は、胸部5ヶ所に電極を貼付し、箱形の小さな装置を首からぶら下げて、時計を見ながら、食事、散歩、階段の上り下りなど、逐一行動を記録するのだから厄介だ。

×

前者の低血圧による失神は、前年暮れの機関紙編集の際の、指示どおりに進まないイライラが高じてのストレスと、疲労が原因だったことに間違いなく、当日の飲酒が誘因となったが、その日はビールを中心に、いつもと変わらない程度の量であった。

後者の心電図の異常性も、ストレスの強弱によって神経に乱れを生じ、心臓の鼓動に変化をもたらしたものと思われる。

担当医は、大きなマスクをしてパソコンを操作しながら話すし、私は難聴なので十分に聞き取れなかったが、手の汗は見て貰い、「緊張を和らげ、ストレス解消を上手に」とか「規則正しい生活、重い仕事はいけない」など肝心なところは解かった。ただ「4週間分の薬をあげます」と言ったその薬が、精神安定剤だけで、看護婦さんから「太陽に当たりながらノンビリ散歩を」と言われたことから、帰宅するなりインターネットなどで異常性を調べてみた。

その結果は、《一過性で、自律神経の副交感神経の緊張による異常性心房調律》で、私なりにさほど心配はいらないと判断した。つまりストレスが解消されない状態が続くと、常に交感神経が優位な状態となり、自律神経のオン・オフのバランスが崩れ、心臓など身体に不調が表れるらしい。

そうと決まると、今度はストレス解消に対処するにはどうすればよいか、である。一人旅などで内的に発散するか、他に転嫁するなどして外に出してしまうか、或いは入って来ないようシャットアウトするのだが、これはインフルエンザ予防と同じく、シャットアウトだろう。それにはガードを固めて出しゃばらないことだが、私には難しい。せめてテレビは穏やかで美しいものを流して欲しいものと思う。

春節交流会開催!

春節交流会に参加して

「日中文化交流会」とはマージャンをやること、と思っていたが、2月14日はちょうど春節なので水餃子を作って食べるという。なるほど「餃」の字は「食」と「交」である。

受付で300円を払って2Fの調理場をのぞくと、白菜を切ったり、ひき肉をまぜたり、20人ぐらいが忙しそうに作っている。とても手伝う余地はない。

3Fでいつものようにマージャンをやりつつ待っていると、いい匂いがしてきた。餃子が大皿30枚くらい運ばれてきて、いよいよスタート。代表のあいさつも短くて好々。

餃子をパクパク、スープをゴクゴク、いや～満腹でした。と、その時、長さ6cm巾2cm灰褐色の異様なものが「どうぞ」と差し出された。ムムム・・・これは何だ? カブトガニの子供か。さっき飲んだスープに入っていたらしい。



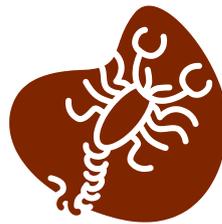
まず、頭から食う。煮干のようでもあり、むかし寝小便をしたとき食わされた孫太郎虫のようでもある。味は無い。旨味は全部スープに出てしまったらしい。

後日、埼玉博物館の顧問をしている友人にこの話をしたら、次のような回答であった。

——砂漠地帯にいる小型のサソリモドキのようでもあるし、南方の浅い海にいる節足類のようでもある。いずれにせよ話だけではよくわからず、海のものとも山のものともつかない。——

あと何年生きるかわからないが、二度と食うことはないであろう。貴重な体験であった。

(高橋雄三)



渡辺仁史さん

春節的感受



十年，人生能有几个十年。阳历 2010 年的 2 月 14 日是中国的农历的正月初一。对我个人来说已经是我在日本过的第十个春节了。

每次过节，我非常感谢岩间老师，以及交流会的老师们能够诚挚的邀请我，让我一个中国人能够在日本体会到一种大家庭的温暖和如同在中国过春节的热闹。更重要的还是可以通过这样的节日活动，让更多的日本朋友，中国朋友互相认识。

**テングノオトシゴを食べている
高橋さん!**

おいしそう～ (@_@;)

渡辺仁史さんがこの生き物の名前を調べてくださいました。

一大早9点半大家陆续到了会场，并自主的结成小组，开始了中国传统的节目——包饺子。眼看着一袋袋面粉加上水，在负责和面的人手中揉成了白白胖胖的面团之后，再将揉好的面团分开，两三个人一分每个人手中就开始揉出20公分粗细均匀的面条，再有人用刀，将它一小段一小段均等的切开，并拍扁，再由负责擀皮的人用擀面棍将拍扁的面饼擀薄，成为饺子皮。



这时候，负责和馅的人已经早早的把切碎的菜和肉放在盆中，倒上了酱油，味精，盐等调料。专等着这边饺子皮的完成了。

包饺子是大家最喜欢的。不论形状，大小，关键在于大家齐上手，就在边包饺子的时候，边交流。中文，日文能用上的语言都用上了。在这份其乐融融的环境中，包出来的饺子才更香，更有家庭的味道。



饺子边包边煮，很快煮好的饺子味道就飘香满屋了。当然，由于个别人的手法问题，或是皮薄的地方，或是没捏紧的地方，几个饺子馅还是提前跑了出来和大家见面了。不过，这终究是大家的心意。哪怕是只有饺子馅或饺子皮都是大家用心之作。

最后，几个小组的饺子端到一起，所有人不分你我的品尝着大家的手艺。这时候，看到的是大家脸上洋溢出的劳动后的满足感和喜悦心情。也正是这个时候，让我有了一种家庭的感觉。

实在难得的是，饭后，还准备了小吃。大家喝着茶，



吃着小吃支起了麻将桌。日本的健康麻将男女老少都会玩。很多中国家庭也是在过节的时候一家人团聚在一起玩着麻将。对于早已生疏的麻将牌，我是只输不赢，还好不是玩钱的，用中国话说，就是给其他人“点炮”的了。

能参加这样的活动。真不是在日本的中国人都能享受到的。所以，每次岩间老师和其他老师一起，大力宣传，尽量多地让更多的朋友加入进来。让更多的朋友能在异国，有在家过年的感觉。（李慧杰）

十年・・・人生において、何度“十年”が巡ってくるのでしょうか。2010年2月14日は中国の正月。私にとって、日本でのもう十回目の春節となりました。

毎回春節会にお誘い頂き、岩間先生や交流会の皆さんには、本当に感謝しています。



おかげで、中国人である私も、日本にいながらにして、家庭的な温かさと、中国で迎えるような賑やかな春節の雰囲気を楽しむことが出来ました。また、多くの日本人や中国人の友達と出会えて、本当に良かったです。

朝九時半からみんな続々と会場に入ってきました。

さっそく、それぞれ自由にグループを作り、中国の伝統的な正月行事——餃子作りの始まりです。まず小麦粉に水を加えてしっかり捏ねると、見る見るうちに丸くまとまってきます。それをいくつかに分け、細長い20cmの棒状に整えます。それから包丁で均等に切って平らに伸ばし、麺棒で更に薄く延ばして、皮の出来上がりです。



餃子の具のほうは、みじん切りにした野菜と肉を混ぜ合わせて、醤油、味の素、塩などの調味料を入れて準備しておき、皮が出来上がるのを待ちます。餃子包みは楽しいひと時です。形や大きさがまちまちなのはさておき、中国語や日本語でおしゃべりしながら、皆で一緒に楽しい雰囲気の中で作った餃子は尚更美味しく、家庭的な味わいがあると思います。

包み終わった餃子を次々と熱湯に入れて茹でると、すぐに餃子の匂いが部屋の中に漂ってきました。皮が薄すぎたり、ちゃんと包んでなかったりで、茹でているうちに、具がとび出してしまったものもありましたが、皆で一生懸命作ったものなので、一つ一つに心がこめられています。

最後に、各グループで作った餃子を並べて、それぞれの味を楽しみました。この時、皆の表情には「出来た」と言う満足感と喜びが溢れていました。そして私は、何だか一つの家族のようだと感じました。



食後は用意していただいたお菓子やお茶を頂きながら麻雀をしました。日本の健康麻雀は老若男女だれでも楽しめます。中国の多くの家庭でも祝日に家族が集まって麻雀をする習慣がありますが、あまりやったことがない私は、“点炮”で、負けてばかり。お金を賭けないので、助かりました。(自分が捨てたパイを他の人が拾ってあがることを、中国語で“点炮”と言います)



私は今回このようなイベントに参加させていただきましたが、日本に住む中国人の皆にこういうチャンスがあるとは限りません。だからこそ、より多くの仲間たちが、日本にいても故郷で春節を迎えるような感覚を味わえるよう、岩間先生をはじめ他の先生方は、毎回熱心に広報し、交流会への加入を勧めて下さっているのだと思います。(日本語訳：劉迪)



楽しく「ポン!」「ロン!」

締めくくりの健康マージャン大会

健康マージャン教室では平成 21 年度締めくくりの大会を 3 月 14 日 (日) 福島市中央学習センターで開催しました。

教室を開いてもう 2 年 3 ヶ月になりました。最初は生まれて初めて牌 (パイ) に触ったとか、ルールや上がり方など何一つ分らずに卓を囲んだ女性会員が大勢でした。その方たちが今ではベテラン男性…といっても長らくマージャンから離れていて、点数数えも忘れてしまった方ばかりでしたが、それらの方と一緒に「ポン」だの「ロン」だのと、興奮した叫び声を上げながら勝負を楽しんでいます。

もちろん「賭けない、飲まない、吸わない」が看板の健康マージャンですから極め付きに明朗清潔、毎回お茶、コーヒー、つまみものが用意され、家庭団欒の雰囲気です。この日の大会も弁当の昼食をはさんで、2 卓で入れ替わりながら和気あいあい、成績はなぜか男性優位でしたが、全員が斉藤副代表幹事さんら提供の賞品を貰いニコニコでした。

なおこの教室立ち上げに際し、熱心に指導して下さった幾世橋昇さん (福島市笹谷・日本マージャン連盟 5 段) が去る 3 月 9 日 77 歳で亡くなったことを新聞で知り、大会に続いて開いた幹事会で心からご冥福を祈りました。

【大会の成績順位】 敬称略

- ①高橋雄三 ②柳沢警三 ③斉藤佐久男 ④佐藤満
 - ⑤高橋重夫 ⑥柳沢美佐子 ⑦丹野成子
 - ⑧渡部千佳子・矢部良子 ⑨岩間真弓 ⑩板橋比英美
- 以下蛇足ながら……



老化防止にぴったり、皆さんどうぞ

マージャンは百数十年前の中国清朝時代に生まれたと言われ、日本への渡来は大正末期、福島では昭和初期に商店の旦那衆から始まったようです。136 枚の牌 (パイ) で繰り広げる 4 人の駆け引き、運と技量がからむ役つくりの深さと面白さ、今では世界的に愛好者が増えているのもご尤も。特に年配者にとって、頭を使うと同時に手先を動かす、これこそ老化防止にぴったり、嬉しいではありませんか。

というわけで、みなさんどうぞ知人友人お誘いのうえ健康マージャンにおいで下さい。初めての方ももちろん歓迎です。

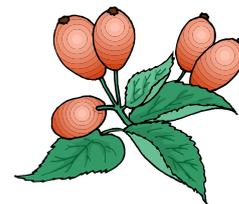
【健康マージャン教室要領】

日時…毎月第 2 日曜 10:00~16:30 (出退自由)

場所…福島市中央学習センター

費用…1 ヶ月 500 円×12 ヶ月 (途中の方は参加月から。福島日中文化交流会の会員でない方は他に入会費 3000 円)

(高橋重夫記)

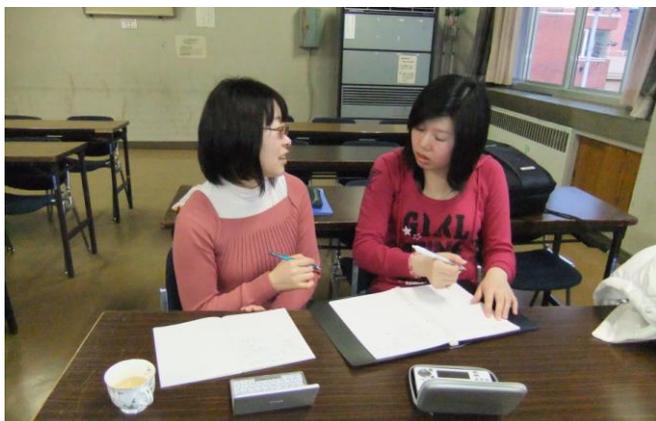


日本語教室より

現在、5～6人の日本語を学ぶ生徒さんが熱心勉強しております。2月には、中国吉林省で日本語の講師をしている渡辺仁史さんが一時帰国した忙しい時に時間を割いてくださって日本語を教えてくださいました。ありがとうございました。



常日頃、安齋紀子さん、坂本砂知さんが懇切丁寧に日本語を教えてくださいましております。しかし、教える人が少ないため大変困っております。もし、会員さんの中で是非、日本語を教えたいという方がおりましたらお知らせください。



安齋紀子さんと黄培蓉さん



坂本砂知さんと劉迪さん



先日、日本語の学生さん達と花見山に一品持ち寄りで花見をしてきました。砂肝の佃煮やチャーハン、炒り卵、味付けご飯、味付けゆで卵、あんこ団子にフルーツ団子、コロッケなどおいしいものを各自持ち寄って山の上で食べて来ました。初めて桜を見るという人が殆どで花見山の桃源郷の桜を満喫して来ました。
(岩間真弓)



劉迪さんは、5月から福島を離れ引っ越すことになりました。いろいろありがとうございました。



図雅さんは内モンゴルから来ました。福島大学の留学生です。

私のふるさと

現在、福島大学で勉強している当日本語教室の凶雅さんは、中国内モンゴルから3月にやって来ました。

凶雅さんは、自己紹介の時にモンゴル語の歌を披露してくださいました。そして、今回、是非私の故郷をご紹介しますとパワーポイント式で送ってくれました。どうぞご覧ください。

(岩間真弓)

- 生活风俗 (習慣や風習)
- (1)服飾(アパレル): 靴子和蒙古袍(ブーツとモンゴルのガウン)



—凶雅さんふるさと紹介—

我的故乡 中国・内蒙古

(私の故郷—中国・内モンゴル)

- (2)飲食(食品)



“天苍苍野茫茫，风吹草低见牛羊”
(青い空、広い草原)



- (3)居住 (住宅)
- 蒙古包 (パオ)



[http:// www. jixuelu.com](http://www.jixuelu.com)

娱乐 (エンターテインメント)

- “那达慕” (ナーダム)
- “那达慕”在蒙语中是娱乐、游戏的意思，它由摔跤、射箭、赛马三项竞技组成



(3)赛马 (競馬)



• (1)摔跤(モンゴル相撲)



• (2)射箭 (アーチェリー)



以上是对我故乡的简单介绍。

欢迎老师到我的家乡做客。

最后，呈献一份洁白的哈达，代表我洁白的祝福，祝岩間老师以及全家人幸福安康！



以上が私のふるさとの簡単な紹介です。是非、私のふるさとに遊びに来て下さい。

最後に純白の白い哈达(絹布)を送ります。これは、私の無垢で幸せを祈る気持ちを表している物です。どうぞ、岩間先生や家族のみなさんが健康で幸せでありますように。

哈达とは・・・

チベット族や一部のモンゴル族が祝賀や尊敬のしるしとして人に贈る、白・黄・藍などの帯状の絹布。

(日本語訳 岩間真弓)

渡辺仁史さんの 吉林紹介

今回、日本語教室をお手伝いいただいた中国の大学でご活躍の渡辺仁史さんから記事をいただきましたのでご紹介いたします。(岩間真弓)

みなさんお久しぶりです。今年の2月に日本語教室でお手伝いをいたしました渡辺仁史です。改めて自己紹介いたします。生まれは福島市。大学では中国近代史を専攻し、ハルビンに2年間留学しました。国内外を問わず旅行が好きで、中国は大小合わせて160ぐらいの町を訪れました。現在も吉林省で日本語教師をしております。このたび、記事の掲載の機会をいただきましたので、私が働いている北華大学と吉林市を簡単に紹介いたします。



北華大学は市街地のはずれに位置する総合大学です。交通は便利だとは言えませんが、落ち着いた治安のいい所で、今でも道端でヤギやロバがのんびりしているのをよく見かけます。去年で統合10周年という新しい大学ですが、その前身は清朝末期の1906年まで遡ることができ、なんと精華大学よりも古いのです。

日本語学科は比較的大きく、1学年2クラスで、各クラス30人程度の学生が学んでいます。学生たちは全員がゼロから学び始めますが、そのハンデを乗り越えて日本語能力試験1・2級に毎年多数合格しており、熱心な学習態度にはしばしば感心させられています。惜しむらくは吉林市に日本人がほとんどいないため、直接ネイティブと交流できる機会には恵

まれていないことです。

留学生の受け入れも盛んに行われており、日本人は教師を含め3人ですが、学生寮では韓国・ロシアをはじめ、中央アジアやアフリカ諸国など、実に様々な国籍の留学生たちが一緒に生活しています。事務的な面ではまだ改めるべき点が見られますが、中国語の授業では若い先生方が熱心に教鞭をとられています。



吉林市は市区人口約200万人、全市人口430万人のわりに繁華街はこぢんまりとしています。おもな見どころは高句麗の遺構が残る龍潭山、満州国時代に作られた人造湖・松花湖などがありますが、何と言っても極寒の早朝に川辺に現れる樹氷ははずせません。日本の蔵王の迫力ある樹氷と比べ、吉林のそれは繊細な美しさがあり、輝きながらとけ散ってゆく姿は中国の四大自然奇観と讃えられるにふさわしく、三峡下り・桂林の山水・雲南の石林とともに広く世に知られています。

吉林は知名度が低い分、自分でよさを見つける楽しみがある場所です。学校の中にあっても外にあっても、私は手探りの楽しさを忘れずに毎日を大切に過ごしてゆきたいと思っています。夏には一時帰国する予定ですのでぜひまたよろしく願いいたします。(渡辺仁史)

渡辺仁史さんの中国写真集！

—樹氷—



—開平 広東—



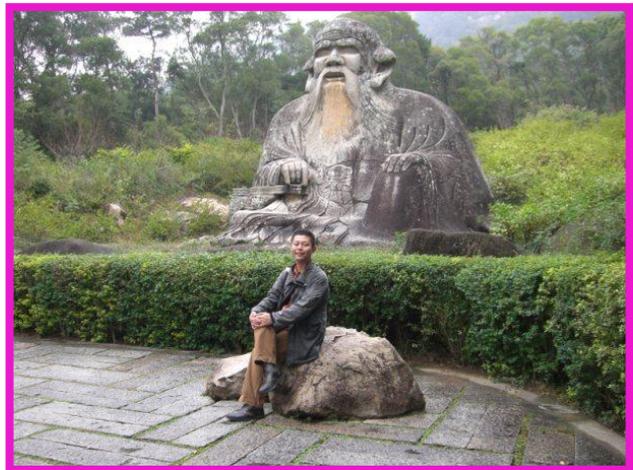
—三清山 江西—



—武夷山 福建—



—泉州 福建—



—土楼 福建—



—訃報—

今回、李淑薇先生のお母様はじめ会員の安斎幸太郎さん、健康マージャン教室で大変お世話になった幾世橋昇さんがお亡くなりになったことをご報告いたします。ご冥福をお祈りします。

李淑薇先生から中国語会話教室のみなさまへということで記事をいただいておりますのでご紹介いたします。
(岩間真弓)

想借助日中文化交流会的刊物,向中级班的同学们表示感谢。

今年1月21日,突然接到母亲去世的噩耗,万分悲痛.虽然也懂得“人固有一死”的道理,却还是耿耿不可释怀.在此期间,得到众多同学们的关怀和爱护,让我摆脱了感情上的痛苦。

日中文化交流会の刊行物をお借りし、中級の生徒のみなさんに感謝を述べたいと思います。

今年の1月21日突然母の亡くなった知らせが届き、非常に悲しい思いで一杯でした。

人は死ぬという道理は分かっているにもかかわらず心の安らぎをめぐいさることはできませんでした。

このような時、たくさんの生徒さん達のご配慮と思いやりをいただき、私を悲しみから解きほぐしてくれました。

送上一首悼念父母的诗歌,如果能为同学的学习起到一点点作用的话,万分荣幸。

父母を追悼する詩歌を送ります。もし、生徒さん達の勉強に少しでもお役に立てば非常に光栄に思います。

昨夜の寒风就象妈妈去世那天一样凄厉地嘶叫,又勾起了我的哀思……

昨晚の寒い風は、まるで母さんが亡くなったその日の凄まじい雄叫びのようで、また私の悲しい思いを呼び起こしました。

思 亲 李淑薇

朔风声凄厉,寂夜彻骨寒。

凝空长哀叹,纵泪思爹娘。

丰餐愿分羹,热衾愿共床。

风雨愿同路,笑语愿齐享。

但悲空对影,悔恨古难全。

天地共婵娟,春晖来世还。

2010/3/13

父母を思う 李淑薇 (詩訳)

北風の音は凄まじく、寂しい夜に寒さが骨身に沁みる。空に思いを凝らし長く嘆き悲しみ、父さん、母さんを思い涙がこぼれる。

美味しい料理を分けてあげ、布団を温め中に入れてあげ、辛い時に付添い、笑い声を共に分かち合いたかった。しかし、悲しいのは、今は影しか見えず、悔しいのは、長い間の願いが叶えなかったこと。

天と地離れていても眺める月は同じ、父母の恩は来世で償う。

父母を思う 李淑薇 (詩大意)

昨晚の寒い風は、まるで母さんが亡くなったその日の凄まじい雄叫びのようで、再び私の悲しい思いを呼び起こした。

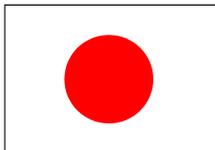
とても寂しさを感じ余計に北風の寒さが骨身に沁みた。

空を見て思い凝らし、長い間悲しみに打ちひしがれ、悲しく悲しくて父さん、母さんを思い涙がこぼれる。父さんや母さんに美味しい料理を食べる時分けてあげ、布団を温めた時には、布団の中に入れてあげたかった。

そして、父さん、母さんが辛く苦しい時に付き添ってあげて、一緒に笑い声を共に分かち合いたかった。しかし、悲しいことは、親を思うこの気持ちがあっても今では、影しか見えなく、悔しいことは、昔からずっと永遠に一緒に居るという願いが叶えなかったこと。

父や母は、天から月を見て、私は地から月を見るけれど離れていてもお互いに眺める月は同じ月、今まで何もできなかったけれど、父や母への恩は来世で償いたい。

(日本語訳 岩間真弓)



お知らせ



いつも福島日中文化交流会へのご支持とご協力感謝申し上げます。

平成22年度の会費及び各種会費納入のお願い

下記へよろしくお願ひいたします。

会費納入について

- (1) 郵便局振込みの場合(お近くの郵便局で)
02220-7-105525 福島日中文化交流会
- (2) 銀行振り込みの場合
振込先:普通預金 東邦銀行保原支店
口座番号:733649
名義人:福島日中文化交流会
代表幹事 岩間真弓
住所:〒960-0613
伊達市保原町字内町 21-5
- (3) 会費について
法人会員 10,000円 個人会員 3,000円
中国人会員 500円

中国語会話教室からお知らせ

◎中国語会話教室第36期募集!

日時:平成22年4月～平成22年9月
(時間は各級による)

場所:福島市中央学習センター

内容:入門・初級・中級

費用:一ヶ月 3,000×6ヶ月=18,000円

講師:李淑薇・岩間真弓

※一クラス分の授業料で3クラス受講可能

◎高級班勉強会のお知らせ

日時:毎週木曜日15時～16時

場所:福島市中央学習センター

内容:通訳ガイド試験、検定試験1級など

対象:レベルは検定試験準1級以上

◎第71回中国語検定試験開催

日時:平成22年6月27日(日)

場所:福島テルサ

内容:準4級・4級・3級・2級・準1級

「当面の行事のお知らせ」

1 花架拳教室

日時:毎月第2日曜日(都合により変更もある)

場所:福島市中央学習センター

内容:護身術である花架拳を演舞する

費用:平成22年5月～平成23年3月
(11カ月 8,800円)

講師:日本花架拳学会 飯田加寿子



2 健康マージャン教室

日時:毎月第2日曜日(都合により変更もある)

場所:福島市中央学習センター

費用:1年分 6,000円(500円×入会月から)

内容:吸わない・飲まない・賭けない健康なマージャン

3 日本語教室

日時:毎週木曜日 16:00～18:00

場所:福島市中央学習センター

講師募集!

内容:中国人に日本語を教える

*講師料はお支払いできません。教科書各自負担。



4 どのような広場

日時:平成22年5月8日(土)

場所:福島市中央学習センター2F和室

内容:福島市内のこども達に中国の文化紹介
(中国語、遊び、少数民族の衣装)

5 平成22年度総会

日時:未定

場所:未定

6 中国語学習団

日時:未定

場所:未定

ホームページ見てね♪

アクセス待ってるよ～

ブログも書いてね!!

<http://www.rizhongwenhua.com>

《編集後記》

今回は中国人の会員のみなさまや現在中国で活躍している方、色々な方から記事や写真を多く寄せて頂きました。ありがとうございました。今後多くの情報のご提供を宜しくお願いします。

(編集:岩間真弓 印刷:斎藤佐久男 発送:安齋紀子)